

事業所名

児童デイサービスまはろ南浦和

支援プログラム（参考様式）

作成日

2026年

3月

23日

法人（事業所）理念		感謝を増やし幸せをつくる		
支援方針		児童の放課後の家となるような環境の中での様々な経験を通して、集団生活内での自立を目指す		
営業時間		平日 14時半～17時半、短縮 11時半～17時半、休校日 11時～17時半] 土曜日 10時～16時	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 排泄トレーニングや手洗い、洋服類の着脱や、個人の所有物の管理等基本的な生活行動習慣化し、身辺自立を目指す。 健康状態の把握（その日ごとの小さな変化やサインから心身の異変に気が付けるよう、観察を行う） 		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 音楽に合わせてのダンスや屋内遊具を使用しての粗大運動、シール貼りやパズルなど微細運動を行い、日常生活に必要な姿勢の保持などの改善。 一定時間の着座、姿勢保持と運動(体幹の形成)を行い、社会生活上、必要な機能を改善する。 		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 行動の切り替えや終わりなどはタイムタイマーを使用し、視覚、聴覚、個人の優位性に合わせて児童が認識し、行動に移せるように支援を行う。 遊具等は様々な物、用法を提案し、興味の幅、視点が広がるような環境をつくる。 		
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 集団生活の中で、状況に合わせた、自分なりのコミュニケーション方法の定着、基礎能力の向上を目指し、状況に合わせたコミュニケーションを行う。 指示やルールを様々な形で理解できるよう、特性に合わせて日常生活での経験で成功体験を重ねていく。 		
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶やお礼の習慣化、おもちゃの貸し借りや遊びを通して、他者との関わり(人間関係)の形成と発達を目指す。 職員や他児童を含めた他社との交流機会を作り、集団生活のルールや経験を身につけていく。 		
家族支援		障害特性に応じた家庭環境への助言、配慮 家庭環境に合わせた児童に関する助言	移行支援	卒業後の進路に向けた、進路候補先との連携 進路先の内容に応じた導入の為の支援
地域支援・地域連携		学校や相談支援員、医療機関との連携や調整	職員の質の向上	事業所内研修、外部研修の 療育や制度に関する事業所内スタッフミーティングの定期開催
主な行事等		季節ごとの行事（ハロウィン・クリスマス・正月等）、同法人内と合同で行うまはろ祭りの開催、誕生日会、避難訓練（火災・地震・水害 年2回以上）		